



A PORT ENCOUNTER

アート × 建築 × 食



フランシス 真悟
Artist

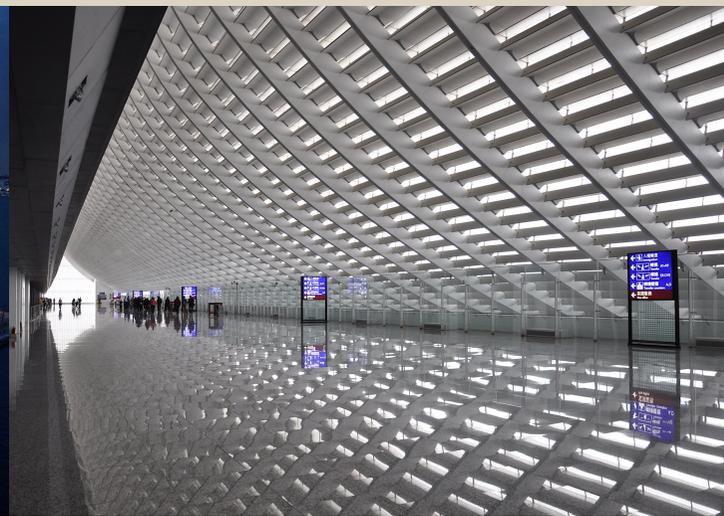
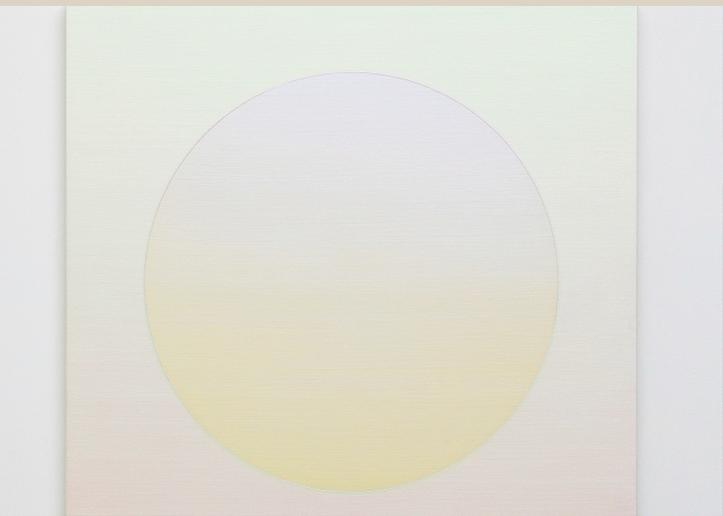
×

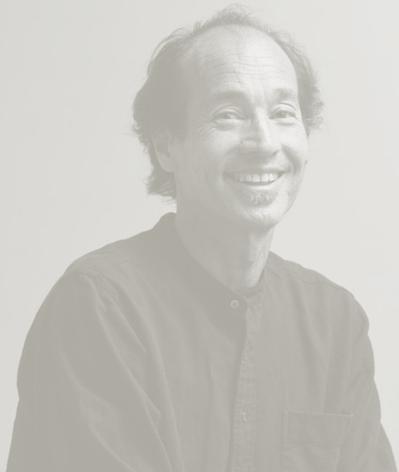
團 紀彦
Architect

2025年1月26日[日]
お食事とトークイベント
13:30 ~ 16:30

CROSSTALK

InterContinental Yokohama Pier 8
〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-14-1
TEL : 045-307-1111 (代表)





A PORT ENCOUNTER アート×建築×食

- ・日時:2025年1月26日[日]13:30~16:30 (受付13:00より)
ランチ 13:30~14:50 トークイベント 15:00~16:30
- ・会場:InterContinental Yokohama Pier 8 2階 レストラン&バー「Larboard」
- ・内容:<ランチ>旬の食材をアレンジした3コース仕立ての Pier 8 キュイジーヌ。
<トークイベント> Harbor dialogue :国内外で活躍する建築家 團紀彦氏と現代アーティスト フランシス真悟氏によるクロストーク。
アート、自然や都市などに関する対話を文化の交差する横浜で。
- ・料金:1名様 7,500円(サービス料 税金込み)

・ご予約:12月6日[金]10:00より ホテルウェブサイトまたはお電話にて承ります。

TEL:045-307-2228 (レストラン予約 10:00~19:00)

ホテルウェブサイト:こちらから ➡



代表者氏名・人数・ご連絡先(当日連絡のつく電話番号とメールアドレス)をお知らせください。

- ・その他:座席は、受付順の指定席をご用意します。予めご了承のうえお申し込みください。本イベントは20名様限定です。満席になり次第受付を終了いたします。未就学児のご参加はお控えください。/2025年1月21日以降はお申し込み後キャンセル料を申し受けます。1月21日~25日 お申込み料金の50%、当日100%

InterContinental Yokohama Pier 8
一般財団法人セゾン現代美術館/セゾンアートショップ

【Shingo Francis フランシス真悟 現代アーティスト】

1969年サンタモニカ生まれ。ロサンゼルスと鎌倉を拠点に活動。絵画における空間の広がりや、精神性を探究し続けている。代表作として、幾層にも重ねられたブルーの抽象画や、深い色彩のモノクローム作品の他、特殊な素材を使用し、観る角度によってさまざまな光と色彩が立ち現れるペインティング「Interference」シリーズが知られる。DIC川村記念美術館(2012年)、ダースト財団(2013年)、セゾン現代美術館(2018年)、マーティン美術館(2019年)、銀座メゾンエルメスフォーラム(2023年)、茅ヶ崎市美術館(2024年)など国内外多数の展覧会に参加。

2018年にはヨコハマ グランドインターコンチネンタル ホテルのロビーにて作品を展示。

【セゾンアートショップ ギャラリー展示のご案内】

フランシス真悟 展示会を開催。セゾンアートショップ(ヨコハマ グランドインターコンチネンタル ホテル1階)にて、会期 2024年12月27日(金)~3月25日(火)まで。*日程は変更になる可能性があります。



【Norihiko Dan 團紀彦 建築家/都市計画家】

1956年神奈川県生まれ。1979年東京大学工学部建築学科卒業後横文彦に師事。1982年同大学大学院修士課程修了。1984年米国イェール大学建築学部大学院修了。1998年愛知万博日本誘致案の作成に参画。誘致後の環境重視型原案の棄却と平場造成の復活に対し、日本政府の旧来型開発手法を厳しく批判、海上(かいしよ)の森の環境保全に道を開いた。代表作に日月潭風景管理处、台湾桃園国際空港第一ターミナル、日本橋室町東地区再生計画「コレド室町」、及び表参道HUGO BOSSなど。軽井沢セゾン現代美術館理事。著作に「共生の都市学」。

